

# 被災時があると頼もしい 防災ガジェット編

Vol.03

**災害時に電気や電化製品は貴重品、  
電池やラジオは効率良く使える工夫を。**

災害時に電気が使えると、とても安心です。スマートフォン、照明、ラジオなどが使えると使えないでは大きく違います。非常時の備えとしてしまっておくには割高で、電池やケーブルなど用意するものも多く、いざという時に使えなかったというのもよくある話です。例えばそのような事態を防ぐため、ラジオは、電池がなくても手回しで充電できたり、太陽電池が付いているものを用意します。もちろん、両方使えたとさらに頼もしいですね。

実際、手回しによる充電は、かなり体力と時間を使いますから、電池の準備を忘れないようにしましょう。また、ラジオにはLED照明が付いているモノもありますし、ラジオからスマートフォンなどに充電ができるモノもあります。このように、一つの電源で複数の機能を使えると失敗も少ないのです。同様に、電化製品で使う電池は、なるべく同じ種類モノに統一しておくことで電池の準備も楽になります。

また、重要な機器は複数持つようにします。LEDライト付きラジオを持っていても、ライトやモバイルバッテリーは単機能のものを別途用意する、などです。

ラジオを用意するなら、手回しや太陽電池でも充電ができて、LED照明も付いているモノを選びます。さらに、この写真のように、USB経由でスマートフォンなどの充電ができるタイプだとさらに安心ですね。その場合、充電用ケーブルの準備を忘れないように。



このラジオには、手回し充電用のハンドルその他、上部には太陽電池も搭載。



Lightningコネクタに対応したケーブルも用意しておきましょう。

## ＜製品リスト＞

- ラジオ: SONY太陽光充電「FM/AMポータブルラジオICF-B99」(参考価格 ¥10,300)
- USBケーブル: SONYの付属品+ライトニングケーブル: 1m・ホワイト (参考価格 ¥2,500)



# 役に立つ 防災ガジェット・ベスト7

普段使っているスマートフォンのサポートのためのバッテリーなどの機器、停電時に役立つ照明機器、充電もできるラジオのような多用途に使えるアイテムなど、被災時に必要になる電化製品とその補助用アイテムを集めました。



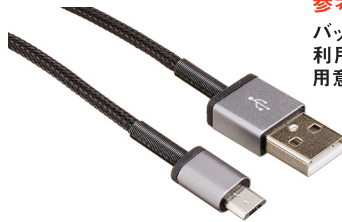
非常時の装備は、予備電池や補修パーツの入手しやすさも重要!



## 「ケミカルライト DR-TCL2」

参考価格 ¥200

電源が不要の化学発光体使用の非常用ライトは、可燃性ガスの中で使用しても引火する危険が無いので電池タイプと併せて用意します。1本で一晩光続けるので、3日分として、一人3本程度は揃えておきましょう。



## 「ストロングUSBケーブル

(micro USBコネクタ)」

参考価格 ¥1,850

バッテリーだけでは何も充電できません。バッテリーを利用したい機器に合わせたケーブルも必ずセットで用意しておきましょう。長いものでなくても構いません。



## 「乾電池アダプター」

参考価格 ¥500

組み合わせて使用できる乾電池アダプターで、備蓄する電池の種類もまとめられます。



## 「フラッシュライト閃(SG-330)」

参考価格 ¥2,980

懐中電灯は、小さくて、電池寿命が長く、光量が充分にあり、防水タイプのものが良いですね。電源スイッチも手袋をしたままで操作できるものがお勧めです。



## 「レスキューアックス SD-01」

参考価格 ¥6,450

災害時、家具や柱などの倒壊で、避難の邪魔になるものを取り除くのに、手斧やパールのようなものは必需品。各部署に1つは用意しておきます。

## 「コンパクトヘッドライト GD-002D」

参考価格 ¥2,500

ヘッドライトは両手が空くので、光を当てながらの作業が可能になります。コンパクトで電池寿命が長いタイプを選ぶと実用的です。



## 「スマートフォン・タブレット用 モバイルバッテリー」

参考価格 ¥4,020

モバイルバッテリーは、普段の充電を忘れないように。



## 「ストロングUSBケーブル

(micro USBコネクタ)」

参考価格 ¥1,850

バッテリーだけでは何も充電できません。バッテリーを利用したい機器に合わせたケーブルも必ずセットで用意しておきましょう。長いものでなくても構いません。



## 「アルカリ乾電池単4形

2本パック LR03XJ/2B」

参考価格 ¥230

ラジオや懐中電灯、乾電池式のモバイルバッテリーなど、乾電池はあらゆる機器に使用できます。用意する機器はなるべく電池の種類を揃え、なるべく多く用意しましょう。

## mini column

### 電源の確保とオフィス装備の重要性

災害時におけるスマートフォンの役割は重要です。それらのガジェットを充電する電源としてモバイルバッテリーは欠かせません。防災を考慮すると普段使いの1.5倍~2倍程度のバッテリーがあると心強いです。可能であれば大容量のものを一つだけ持つのではなく、必要量の総計を2個3個に分けて持つのがベストです。

その他、オフィスの装備として、ボールなどの大きな工具類、発電機などの大型機材など共有ができて使用頻度が少ないものを備えておくのが良いでしょう。

●非常食品についてのお問合せ・ご注文は

編集長 戸津弘貴

1974年、長野県生まれ。各種雑誌、WebなどのIT系メディアにて活躍中。ガジェット情報サイト「iPod Style」や、防災情報サイト「防災スタイル」を運営している。

【防災スタイル】

[http://www.ipodstyle.jp/feature\\_cat/bousai/](http://www.ipodstyle.jp/feature_cat/bousai/)

